

第4回 まちづくりと野川に関する懇談会 参加票

日時：平成30年3月3日（土）午前9時から正午

●あなたの情報

氏名	参加13名
住所	

※連絡先については必ず記入する必要はありません。ご質問については問合せ先までお知らせください。なお、この個人情報については他の目的では使用しません。

●記入欄（後日、下記の送付いただいて構いません。）

① 鞍尾根橋の下流と上流を視察してのご意見・ご感想

- ・鞍尾根橋から下流の都立野川公園までが、毎日の散歩道になっています。春には桜が咲き満開になった枝垂桜に国分寺と小金井市との全く違った自然環境にこれでいいのかと、いつも感じながら散歩を楽しんでいます。
- ・自然の豊かさの違い、防災上の通路（緊急車両の通行）
- ・鞍尾根橋上流の整備（小金井市部分と同様）を早急にすすめて頂きたい。少しずつでも実績づくりも必要。
- ・水辺の環境の良し悪しは一目瞭然であり、住環境の向上という観点から整備を進める必要がある。
- ・野川ぞいに住んでいます。散歩していて国分寺と小金井市の川の様子が全然違うのでどうしてなのか？とっていました。国分寺側も市民が川辺で集えるような野川であつたら良いと希望しています。
- ・下流は公園として整備され、道路含めた環境が非常によいが、上流は川幅も狭く老朽化していて整備が不十分である。
- ・多自然型の河川（小金井側）と排水路（国分寺側）の対比が著しかった。国分寺エリアの自然河川化を急いで欲しい。
- ・下流と上流との差がありすぎです。下流は多くの人達が散歩したり子供達が水と遊んでいます。国分寺側は見た目も少ないと思います。
- ・北多摩北部建設事務所と南部事務所についてはじめて知った。下流と上流の差は歴然としている。コンクリート水路の景観はなさけない。
- ・国分寺市と小金井市との景観が大きく違って、散歩しやすい、楽しめるみどりの多い川にしてほしい。
- ・下流は整備されており、良好な環境と思います。上流は未整備の状況で野川の近隣に住宅が密集している。
- ・野川の鞍尾根橋を境に野川の感心度合が違う。都の河川の地域が北多摩河川管理が南と北に分かれており、又市の行政も国分寺と小金井との差が大きい。
- ・ジブリの映画みたいでとてもキレイでしたが、もっと生活を生かした共在型の河川のデザインはないのか。同じではなくても良いのではないかな？

② 整備は東京都の事業ですが要望事項はありますか。

- ・東京都では、野川の整備計画を立ててホームページに記載し、実現すれば素晴らしく理想的とも思える絵をかき公表しています。しかしながら、私達には、本気度が全く伝わってきません。都の予算で、調査費が認められたとの噂は聞きますが、治水対策としての事業計画では、現状無理があるように感じます。野川の自然をどう残し、後世に伝えたいのか、どうしたいのか、どうするのを都から直接聞かせてほしい。
- ・残る少しの部分の整備を急いでください。緑化・公園化してほしい。「川」というものはコンクリでできたものでじゃなく「自然」に戻してほしい。子孫への責任としても。
- ・都心の整備にばかり予算を使わずに多摩地域（例えば野川整備）に対し予算を使って整備を進めていただきたい。
- ・早期に整備事業を再開してほしい。都の計画も公表されており、住民への説明を十分にすべきと考える。また、50年近く前より野川の改修の話があり、既に二世代に渡っての話となっている。早急に取り組みを開始してほしい。
- ・是非、国分寺市側も小金井市のような環境の川にしていきたいと思います。
- ・大木（特に南町野川公園横の樹齢数百年のソロの木）をできるだけ残して整備してほしい。
- ・樹木、下草等も武蔵野の植生を生かして欲しい。
- ・現在の野川は小金井側の南町1丁目では大雨が降るとマンホールから水があふれ出て、出た水が野川に流れないので床下浸水になります。
- ・整備計画（青写真のみ？）があるのであれば、少しずつ具体化して環境整備をしていくよう強く要望する。
- ・野川の樹木の整備をお願いしたい。残す木と残さない木の選別も考えて住民の意見を聞いてほしい。
- ・上記①と関連し、野川河川の整備は重要ですが、近接するエリアの整備（例えば消防車の進入、防災上の避難ルートの確保、緑地の確保）も強く要請したい。
- ・国分寺側の野川補強のため、コンクリートで強度を強めるため、横にコンクリート板を渡してあるが、取り払ってほしい。
- ・詳細が知りたい。計画とスケジュール、どこまで代替地や補償をどううけられるか知りたい。野川の周辺に住み続けたい。

③ 国分寺市は、今後も東京都へ早期改修の要望を続けて参りますが、市に対する要望事項はありますか。

・毎年1回、野川と街づくりの懇談会を開催して頂いていますが、年々参加者も減り、今回は残念ながら、努力して頂きましたが13名の参加者と聞きました。なぜこんなに関心が薄いのか考えてみて下さい。席上お話ししましたが、住民が住民がと言う前に市としての取り組みや議会での取り上げ方がそのまま、関心度につながっているように感じてなりません。

・市でできる整備を先行させて都を動かしてほしい。現在の川にしても、「川沿いが歩ける」ようにしてほしい。

・担当課だけが野川改修に努力するばかりではなく、市全体（議会・市長）が先頭をたって野川改修につとめて頂きたい。

・もっと取り組みを強化してほしい。できる所、都所有の公園部分や生産緑地等の部分から手をつけていけばよいのではないのでしょうか。

・野川は日立研究所等の水源から発生しているので、国分寺として、シンボルとしての川となるよう整備していただきたいです。

・早期改修の推進に向けて市としてもプロジェクトを立ち上げて積極的に活動していただきたい。

・野川流連においても市の要望を更に強く都に伝えて欲しい。

・国分寺側と小金井側とは見た目から違いがはっきりしています。国分寺市のイメージも良くないと思います。小金井側に都の公園があるのでその辺からも動ければ良いのでは。

・この計画は都主導の為、大変だと思いますが、どういう風にしたいかビジョンを出して進めて欲しいと思います。

・地域住民の具体的要望を集約してできるだけ具体的に要望して行ってほしい。また、今年度でこの懇談会は4回目ということですが、この結果を今回の懇談会の中でもご意見がありました。もう少し市として他の課とも連携して積極的に取り組んでほしい。

・国分寺市の関わる部分について、少しでもよいのですが整備してはどうか。市として野川流域の住民との話し合いは進んでいるのですか。

・河川の保全に関わる事、例えば、清掃管理、避難上の安全確保は国分寺市が強く進めてほしい。

・野川の環境が昔と変わってない。毎年少しずつでも進歩が目に見える様な作業をしてもらいたい。

・氾濫がおさえ込めているのであれば、計画を変化させる事は考えないのか？50年前と今が技術的変化はないのか？

④ その他、ご自由に記述下さい。

・野川の淵に住み50年ほどの歳月が経ちました。この間野川の氾濫を何度か経験しました。下水道の整備により暴れ川の氾濫が無くなった今、ふと家の前を見てみると、確かに清流は戻ってきましたが、排水路として汚水を流し続けたコンクリートの水路はそのままになっています。このまま次の世代に引き継いでよいのか、せめて汚し続けた私達が何としても今、結論を出さなければならないのではと思っています。事業主体は、東京都ですが、市としても貴重な自然をどう残すのか真剣に考え、議会に諮り市民のコンセンサスを得る工夫と本気度を東京都に伝えてほしいと願っています。スピード感を持ってどうぞ宜しくお願いいたします。

・野川改修・親水化は単なる治水対策だけではなく、環境改善、住環境改善、住民の生活環境改善となる、大きな意味で市の発展に寄与するものです。市を上げて野川の改修に尽力していただきたい。

・河川改修に際し、河川に親しみやすい施設にする希望を取り入れる機会（懇親会、意見を集める集会）を作ってほしい。

・野川の源流口から川を見ながら、散歩が出来る様にしてもらいたい。中央線の入口が野川が始まっているが、源流入口等の看板がほしい。

・多人数の住民をどかすという事は、極力さけるべきだと思う。

問合せ・お届け先：国分寺市建設環境部緑と建築課公園緑地担当

電話 042-325-0111 内線 353, FAX 042-324-0160, E-mail:midorikenchiku@city.kokubunji.tokyo.jp